



TITLE:

地域金融機関の中小企業経営への
貢献効果の実証的エビデンスと理
論的メカニズムー成長を促す金融
力の測定方法と新指標の提案ー(
Digest_要約)

AUTHOR(S):

吉原, 清嗣

CITATION:

吉原, 清嗣. 地域金融機関の中小企業経営への貢献効果の実証的エビデンスと理論的メカニズムー成長を促す金融力の測定方法と新指標の提案ー. 京都大学, 2018, 博士(経済学)

ISSUE DATE:

2018-03-26

URL:

<https://doi.org/10.14989/doctor.k20878>

RIGHT:

学位規則第9条第2項により要約公開; 許諾条件により全文は2021-06-30に公開

要旨

今日の地域金融機関は、単なる資金供給者ではなく、顧客企業のガバナンスの一翼を担う存在として、経営アドバイスやリスクマネジメントを支援することで、そうではない場合と比べて顧客企業の成長可能性を高めることが期待されている。

この様な考え方に立脚するならば、地域金融機関の「評価」は顧客企業の発展にどれだけ貢献したかによって行われるのが自然である。しかし、現在一般に用いられている地域金融機関の主要評価指標には「顧客企業の発展」を直接反映した様な指標は含まれていない。

一方、1986年の全企業数は535,1万社（うち中小企業532,7万社）をピークに減少している。これは、議論の余地はない本質的問題である。金融自身が成長産業として経済をリードすることや実体経済を支えることとは程遠い結果を示している。

そこで本論では再度、本来の金融機関に求められるところの、経済の発展に資する活動がなされているかどうか、それにはどういった尺度が求められるのかを検証しようとするものである。

本論の課題は大きく二つに集約できる。一つ目の課題は、金融機関の活動が顧客企業の財務業績とどのような関係を持っているか、定性的、定量的に分析することで、本論の考え方の妥当性を確認する。金融機関の意思決定行動が顧客企業の財務業績と関係がないならば、本論が前提とする基本的考え方は成立しないと見なさざるを得ない。

二つ目の課題は、いよいよ、成長を促す金融力の測定方法の提案である。当該地域金融機関と中小企業経営との関係に限定した金融機関を評価する指標が作成できると考えている。当然、中小企業の発展・育成に資する力量は強弱があり、その強弱を表現するようなものを想定している。

では、どのような指標であれば、地域金融機関の存在意義を直接反映したものとなるのであろうか。そこで、顧客企業の発展に関わる部分を取り出し、現在利用されている指標を補完するような指標を開発する必要がある。これが本論の取り組む課題である。

顧客企業の財務業績が向上している地域金融機関が高く評価されることを示す指標の開発をめざす。

キーワード：業績評価指標、地域金融機関、中小企業、管理会計、統計調査